

著者	タイトル	発行者	発行年	備考	市史所蔵
■2 政治					
◆2-1 市政・議会					
横浜市役所	『市政概要』各年版	横浜市役所		横浜市の行政施策の実情を示したもので毎年刊行される。ただし、1964・65年は合冊。沿革・自然環境・人口・市議会・執行機関・一般行政・財政・民生・衛生・清掃・経済・農政・建設・土木・都市計画・港湾・貿易・埋立事業・教育・文化・水道・交通・消防など20項目に及ぶ。1966年版より行政編と市勢編との2部構成となる。	○
横浜市民会事務局	『横浜市民会会議録』各年版	横浜市民会事務局		横浜市民会の議事録。会議日ごとに発行される。各年ごとの索引が作成されており、本市、水道、交通、決算、諮問、意見書・決議、議員提出、辞任・辞職、選挙、選任、請願書、報告・その他の各部に分かれている。	○
飛鳥田一雄	『自治体改革の理論的展望』	日本評論社	1965	一万人市民集会の構想と理論(飛鳥田一雄) 日本における自治体改革と民主主義(今井清一ほか) 外国における地方自治と民主主義(林毅ほか)。	○
飛鳥田一雄	『革新市政の展望 横浜市政四年間の記録』	社会新報社	1967	飛鳥田市政1期目の4年間を総括したもの。特に1万人市民集会など直接民主主義の可能性について触れ、革新市政の成果を社会党の党体質の改善につなげたいとの主張が見える。	○
飛鳥田一雄	『自治体改革の実践的展望』	日本評論社	1971	横浜革新市政の実践論(飛鳥田一雄・鳴海正泰・田村明) ヨーロッパの革新市政の理論と実践(全国革新市長会が1968年に派遣した調査団によるフランス・イタリアの革新市政の実態調査報告書の全文)。	○
横浜市民局市民活動部広報課	『広報よこはまに見る戦後の横浜市政』	横浜市民局市民活動部広報課	1982	1949～82年の「横浜弘報」(広報よこはま)の紙面をそのまま影印紹介しつつ、各年ごとの横浜の世相を紹介。さらに関係者のインタビューも付している。	○
小森良章	『横浜の保守党 戦後40年史』上巻、下巻	リバティ・マガジン	1986	自民党神奈川県連・横浜市連の歩み(1945～85年)。横浜市連事務局の芹沢(倉本)靖のメモ、内山岩太郎日記、関係者(横山健一ら)への聞き取りなどをもとにまとめたもの(ただし多くは出典が明記されていない)。著者は東京新聞横浜支局デスクなどをつとめる。神奈川県自民党の低落傾向の原因を探り、体質改善につなげたいという出版動機も含まれている。	○
横浜市民会事務局	『横浜市民会の百年』記述編、資料編	横浜市民会事務局	1989	1889～1988年の市会史。時代毎の概説史、市議経験者75名からの寄稿、市会の党派・委員会等の資料、年表などあり。各編末尾に参考文献一覧あり。	○
横浜市選挙管理委員会	『横浜の選挙五十年の歩み』	横浜市選挙管理委員会	1996	1945～95年の選挙制度・投票行動・選挙管理委員会の活動などを紹介、資料編として各種選挙の候補者別得票数などのデータあり、参考文献あり。	○
新堀豊彦	『かながわ乱の時代 戦後県政五十年』	かなしん出版	2002	内山・津田・長洲県政と県会・自民党県連・横浜市政の動きに関する通史。著者は米田吉盛・藤山愛一郎の秘書で自民党県議。	○
鳴海正康	『自治体改革のあゆみ』	公人社	2003	飛鳥田市政のブレーンが、日本における地方自治のあゆみをまとめ、『神奈川新聞』連載の市政に関する証言を併せ収録して、革新自治体とはなんであったかを問う。	○
天川晃	『占領下の神奈川県政』	株式会社現代史料出版	2012	1945～52年の神奈川県政について、内山岩太郎日記などを通して、占領政策に対する府県レベルの対応を内面的に分析。また内山の「涉外行政」に注目し、食糧放出の要請、特別市制問題への対応などにも触れる。付録としてロジャー・ディングマン「冷戦下の横須賀」(翻訳)を収める。	○
◆2-2 行政					
横浜市総務局	『横浜市統計書』各年度版	横浜市役所		毎年刊行されるもので、横浜市の行政ならびに市勢全般にわたる統計書。1960年度は第40回(1967年刊行)に当る。内容は、土地および気象、建物および住宅、人口、事業所、農林業および水産業、工業、商業、金融および保健、港湾および貿易、土木、社会福祉、衛生および清掃、教育および文化、電気・ガスおよび水道、労働、家計および消費、交通運輸および通信、司法および治安、財政、市民所得、選挙・議会および市職員など20項目以上に及ぶ。	○

横浜市役所	『横浜市報』各号	横浜市役所		毎月5日・15日・25日に発刊されるもので、横浜市及び区役所・水道局・交通局・教育委員会・選挙管理委員会・人事委員会・農業委員会などが公布した条例、規則、告示・公告、雑報、辞令などを含んでいる。	○
横浜市総務局行政部文書課	『横浜市機構沿革史 昭和15年4月～昭和31年3月』	横浜市総務局行政部文書課	1940～1956	戦時期から、戦後の地方制度改革期における横浜市の行政機構の変遷をまとめたもの。毎年4月1日現在の局、部、課、係、事務所・事業所の機構を収録した後、年度内における機構等の異動について、その時期・内容等を時系列的に収録。横浜市事務分掌条例・規則、横浜市係設置規定、横浜市職員録、横浜市報などをもとに作成。	○
横浜市総務局人事課編	『横浜市組織図』各年版	横浜市総務局人事課	1963	横浜市図書館では1962年度版より所蔵がある。	○
横浜市総務局行政部文書課	『横浜市機構沿革史 昭和31年4月～昭和50年12月』	横浜市総務局行政部文書課	1976	横浜市が指定都市となった1956年以降の横浜市の行政機構の変遷をまとめたもの。毎年4月1日現在の局、部、課、係、事務所・事業所の機構を収録した後、年度内における機構等の異動について、その時期・内容等を時系列的に収録。横浜市事務分掌条例・規則、横浜市係設置規定、横浜市職員録、横浜市報などをもとに作成。	○
〔横浜市〕市民局住居表示課	『横浜の町名』	横浜市役所	1982	横浜市内の町名についてその由来と沿革を解説したものの。1991年、1996年発行の続編あり。	○
◆2-3都市計画					
横浜市総務局	『横浜の都市づくり』	横浜市総務局	1965	世界と結びつく横浜港の機能や生活環境から、都市づくり(ニュータウン、鉄道建設計画など)を扱う。地図やイメージ図を多用している。	○
岩崎駿介	『個性ある都市 横浜の都市デザイン』	鹿島出版会	1980	1971年から横浜市企画調整局で都市デザインの仕事を担当した著者の都市デザイン論。第二部で横浜市の具体的な取り組みについて詳述。	×(横浜市立中央図書館あり)
SD編集部	『横浜＝都市計画の実践的手法 その都市づくりのあゆみ』	鹿島出版会	1980	横浜市企画調整局の10年の活動をまとめたもの。田村明「実践的都市計画論」、座談会「横浜市企画調整局10年のあゆみ」を含む。	○
横浜市企画調整局	『港町・横浜の都市形成史』	横浜市企画調整局	1981	開港期からの横浜の都市形成を地図・写真を豊富に用いて解説。高度成長期の人口急増による都市基盤の整備についても触れる。	○
横浜市企画調整局	『横浜の都市づくり－開港から21世紀へ』	横浜市企画調整局	1982	開港以来の横浜の都市づくりの歴史・現状について記述。地図・グラフ・画像を効果的に用いて都市形成についてわかりやすく述べる。	○
川口正英	『港都横浜』	ブックス二宮	1983	水道や道路、ニュータウン開発、交通機関の発展などを扱う。	○
田村明	『都市ヨコハマをつくる』	中央公論社	1985	元横浜市企画調整局長が、六大事業・土地利用・アーバンデザイン・市民参加など、横浜の街づくりの実践を企画調整局誕生から解説。都市づくりはどうあるべきかを論ずる。	○
横浜新都市研究会	『横浜新都市の未来』	文真堂	1989	横浜のベッドタウン化、交通ネットワークの変遷を扱う。	○
横浜市都市計画局開発部開発計画課	『横浜の街づくり PLAN FOR YOKOHAMA』	横浜市都市計画局開発部開発計画課	1991	横浜の街づくりの歴史を前半部で扱う。	○
SD編集部	『都市デザイン 横浜 その発想と展開』	鹿島出版会	1993	『横浜＝都市計画の実践的手法』の続編。総事例編として1970年代からの横浜市の都市デザイン事業を網羅。	○
田村明	『都市プランナー田村明の闘い 横浜<市民の政府>をめざして』	学芸出版社	2006	みなとみらい21や港北ニュータウン、宅地開発要綱制定、横浜駅東口開発、横浜スタジアムなど、横浜のまちづくりの実践を、自分史も交えて具体的に語る。	○
◆2-4政治家					
白土秀次	『横浜物語―小説・平沼亮三―』	兼六出版	1958	平沼亮三の伝記。前半生が記述の大半を占め、戦後・市長時代の記述は少ない。平沼市長と田中省吾助役の関係等に触れている。著者は戦後神奈川新聞論説委員。	○

半井清	『浮き草の思い出』	半井清	1972	1941年2月～1946年11月、1959年4月～1963年4月の二度にわたって横浜市長をつとめた半井清の自叙伝。口述筆記の形態をとる(当時、半井は84歳)。「思い出の横浜」(戦前、戦後)として15頁ほどの記述が見えるが、すべて最初の市長時代の記述。東京開港反対運動、戦時下における市民課の活動、横浜大空襲、市街地の接收、公職追放、昭和天皇の視察などについて述べる。ほかに県知事時代の思い出、思い出の人びと、身辺随想などをおさめ	○
半井清	『わが人生』	神奈川新聞社	1979	1941年2月～1946年11月、1959年4月～1963年4月の二度にわたって横浜市長をつとめた半井清の自叙伝。口述筆記の形態をとる(当時、半井は91歳)。二度目の市長時代の記述はわずか3頁程度。最初の市長時代については、『浮き草の思い出』と同様の記述が多い。このほか横浜商工会議所会頭(1952年11月～1959年6月)時代の回想として、高島屋の西口進出、横浜復興同盟、神奈川相互銀行の争議	○
門司亮	『わが人生』	門司亮「わが人生」出版実行委員会	1980	鶴見出身で、労働組合活動の後、戦前の無産政党時代から戦後の社会党・民社党で活躍した政治家の自伝。	○
飛鳥田一雄	『生々流転 飛鳥田一雄回想録』	朝日新聞社	1987	朝日新聞に連載された元横浜市長飛鳥田一雄の自伝。市長時代を中心に、生い立ちや社会党委員長時代の回想も含まれる。各テーマごとに関係者の証言もあり貴重。	○
◆2-5警察・消防					
神奈川県警察史編さん委員会	『神奈川県警察史』下巻	神奈川県警察本部	1974	神奈川県警察の歴史の内、戦後から1965年までを扱う。連合国軍の進駐から占領・接收、自治体警察から県警察までの経緯など詳しい。明治百年記念事業の一環として編纂された書。	○
横浜救急五十年史刊行委員会	『生命—横浜救急五十年史』	横浜救急五十年史刊行委員会	1983	1933年の救急車導入から約50年の横浜救急の歴史をまとめた概説書。横浜救急の通史だけでなく、各種統計資料や年表も収められている。	○
横浜市加賀町消防団100年誌編集委員会	『百年のあゆみ—奉仕・防火・防災 横浜加賀町消防団100年誌』	横浜市加賀町消防団	1994	加賀町消防団の歴史を中心に横浜における義勇消防の歴史をまとめた概説書。写真や年表を活用しながら消防団の変遷をわかりやすく解説している。	○
神奈川県警察史編さん委員会	『神奈川県警察史』昭和後期編	神奈川県警察史編さん委員会	1998	1966～89年までの神奈川県警察史をまとめた概説書。社会背景とともに、警察組織の変遷や活動、事件・事故等を整理している。	○
横浜市消防局総務課	『炎—横浜消防五十年』	横浜消防50年史刊行委員会	1999	上記『炎—横浜消防四十年』の続編。1948年の自治体消防誕生から1998年までの50年の歴史をまとめた概説書。災害の発生記録も所収。	○